

光の旅人 幸村真佐男 展

カオス・ノイズ・リアリティ

MASAO
KOHMURA
1967-2017
CHAOS
NOISE
REALITY

日本のメディア・アートの先駆者として国際的に知られる幸村真佐男(1943-)は、東京に生まれ、多摩美術大学に入学後、コンピュータを創造的に駆使するCTG(コンピュータ・テクニク・グループ、1966~69年)を結成し、日本初のコンピュータ・アートを発表して注目を浴びました。幸村は1980年代以降、コンピュータ・プログラムの特性を生かして漢字やアルファベットをランダムに組み合わせた《非語辞典》シリーズやCGカラー・ホログラムに取り組みました。90年代以降はデジタル写真に傾倒し、自らの日常を果てしなく撮り続ける《LIFE LOG》シリーズ、撮影光学系のノイズ、フレアやゴースト、電子イメージどうしの衝突や攪乱に注目した《Glitch(グリッチ)》シリーズを手がけ、80年代の《円相》シリーズをさらに展開させて北極圏やチベットのカイラス山に旅して太陽の軌跡を定点観測して撮影した《Suntrail(太陽の軌跡)》シリーズ、人々との出会いの時空を捉える《People Gazing》シリーズなど、自己の身体感覚、視覚、思考の《旅》の軌跡をめぐって独創的な作品をつくっています。

本展覧会は、CTGのグラフィックワークをはじめ、《非語辞典》、《円相》、《Glitch》、《Suntrail》、《People Gazing》などの代表作を展示し、ときに南画のような隠逸的で風雅な味わいを示す作品にひそむ幸村真佐男の世界観をひもとき、その人と作品の魅力に迫ります。

【関連事業】 ■幸村真佐男とキュレーターによるギャラリートーク

日 時：7月16日(日)午前11時~11時30分

会 場：本館ギャラリー

参加費：無料

キュレーター：山崎均(当館客員キュレーター、神戸芸術工科大学教授)

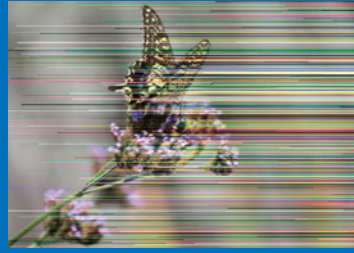
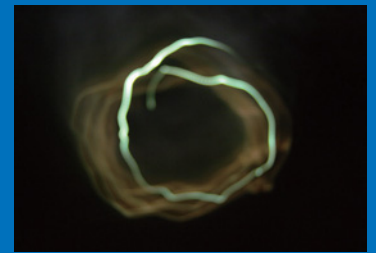
■対談「光の旅：メディアとからだ」幸村真佐男×山崎均

日 時：7月16日(日)午後1時~2時

会 場：本館ギャラリー ※聴講には入館料が必要です。

「ビックバン以前から自然は巨大な乱数を振り続けている。その中にあらゆる詩、小説、名作と呼ばれる言語作品、あらゆる論文、無論、数学論文も、暗号もその解読の為のkeyも当然含まれている。今からはじまる眩き、これからあなたが書き上げる論文、創る作品、撮影されるであろうデジタル写真、あらゆる動画も含まれている。サイコロを振る回数は高々可付番の集合に過ぎない。問題はそれらの中から意味あるものをどうデータマイニングするか。そしてニーチェのいう永劫回帰の中に我々は存在するのであるか？」 (幸村真佐男)

- 1 《非語辞典／四字熟語集・色即是空篇》石版 1995年
“The Non-Word Dictionary / “Neo Prajna-Paramit-Sutra” Stela
 - 2 《円相／剣一》茨城県・鹿島神宮 2006年
“Enso(Circle), First Sword”Kashima-jingu Shrine,Ibaraki
 - 3 《Suntrail／千葉県・布良海岸》2015年
“Suntrail : Mera seaside, Chiba”
 - 4 《Suntrail／アンコールワット》2015年
“Suntrail : Angkor Wat”
 - 5 《Suntrail／北極海・夏至・24時・真北》2015年
“Suntrail : the Arctic Ocean , Summer Solstice, Midnight, Due North”
 - 6 《Moontrail／カイラス》2016年
“Moontrail : Kailas”
 - 7 《Glitch》シリーズより 2013年
from the “Glitch” series
 - 8 《People Gazing》シリーズより 2013年
from the “People Gazing” series ※すべて作家蔵
- 表図版 《アンコールワット/千葉県・嶺岡》 2015年/2016年 “Angkor Wat/Mineoka・Chiba”



2017年7月16日(日)ー10月9日(月・祝)

開館時間 午前10時ー午後5時(入館は午後4時30分まで)

- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)と祝日の翌日
※8月は休館日なし
- 入館料 大人 310円(260円)
高大生 210円(160円)
小中生 110円(80円)
※()内20名以上の団体割引料金
※ココロカード利用可
※障がい者割引有

- アクセス
電 車：JR 加古川線「日本へそ公園」駅前
バ ス：大阪・三宮から神姫バス(西脇行き)
「西脇(アピカ)」からタクシー10分
自動車：中国自動車道・滝野社ICから15分
- 主催
西脇市岡之山美術館(〔公財〕西脇市文化・スポーツ振興財団)
- 協力
神戸芸術工科大学山崎均研究室

〒677-0039 兵庫県西脇市上比延町345-1
東経135度北緯35度交差点日本へそ公園内
TEL/FAX:0795-23-6223
E-mail:okanoyamamuseum@galaxy.ocn.ne.jp
http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/

公益財団法人 西脇市文化・スポーツ振興財団
西脇市岡之山美術館
NISHIWAKI OKANOYAMA MUSEUM OF ART

